

あす 未来の長生を考える

おだか陽一後援会だより

発行者
おだか陽一後援会
発行責任者：小高信一
長生村岩沼619
TEL・FAX (32) 3949

令和6年 会報
新年号

この村の更なる 飛躍を託し



おだか陽一後援会
会長 小高 信一

皆様には健やかな新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。
平成二十四年に発足した当後援会も、今年で十三年目に突入します。この間、村民の皆様には、格別なご指導ご鞭撻、ひいては小高村政にご支援を賜り、心からお礼を申し上げます。



明けましておめでとうございます

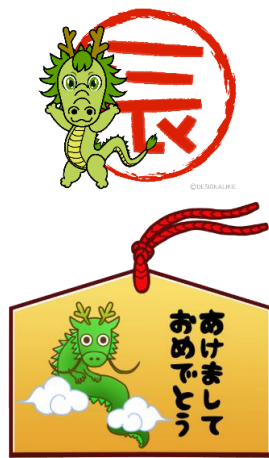
コロナ禍が一段落した昨年の後援会活動は、二月の総会でご承認いただきました行事を滞りなく実施出来ました。皆様のご協力に感謝いたします。

さて、三期目の村政を實踐している小高村長は、昨年の十二月に本誌の号外でお知らせしましたとおり、六月に告示される村長選挙に再度立候補させていたいただくこととなりました。

村長就任以来、一貫してこの村の将来にとって良いと思われる施策、住民が良かったと思えるような施策「任んで良かった長生村」を旗印に、村政を実施してきましたが、とりまく環境が厳しさを増したことに よりまだまだ十分とは思っていないはずで

す。急激な変化と、多様化する社会のニーズに柔軟に対応し、適切な判断で村政を推進するためには、知識・経験をフルに駆使した取り組みが益々必要になってくると思っています。そのため、おだか陽一

後援会は、長生村の人口減少に歯止めをかけ、村の将来のための施策を適宜適切に取り組む小高陽一君に、再度、村政の旗振り役を託し、その実現に全力を尽くすことをお約束します。
令和六年、選挙の年の年頭にあたり、本誌のご愛読をお願ひし、皆様にとってより良い年でありますようご祈念申し上げます。おだか陽一後援会を代表してのご挨拶といたします。



村長 小高 陽一

いつまでも夢を 語れる村に

少し遅くなりましたが、後援会員そして村民の皆様、明けましておめでとうございます。

すでに村の広報にて年頭のあいさつはお届けしましたが、本年もよろしくお願ひいたします。
昨年十二月発行の後援会会報号外は、お読みいただきたくてでしょうか。
四選出馬の決意表明を行って以来、「頑張る」とか「小高でなけりや」との声が聞こえる一方、「まだやるのか、もう若い人にゆずれば」との考えている人もおられることでしょうか。
私が信念をもって村長を続けてきたこの十二年、私はずっと夢を追いかけてきました。
一松地区三ヶ所の津波避難施設と避難道路拡幅。八積駅南口ラウンドアバウトと交流センター。高根小学校体育館改修など形として残ったものもありますし、他市町に先がけて始めた福祉タクシ―事業は、今も登録者が増え続けています。保育所がこども園となり、村内全ての乳幼児が通園できるようになりました。小学校では一人一台タブレット端末を操作し、中学校では十五の春を笑顔で迎えられるよう教育支援員を増やし(郡市で最多)学力向上に力を入れていきます。
こうして村の宝である子ども達が、将来日本中に世